

冬至メニュー
ごはん 豚汁
ぶりフライ
あずきかぼちゃ

ほぼ日刊 夢の華 C^カ a^ラ r^ッ a^ト +

第782号
神町中学校 夢色通信社
令和2年12月21日

毎年恒例の、日本漢字能力検定協会が発表する「今年の漢字」には「密」が選ばれた。新型コロナウイルス感染症の世界的流行や、大切な人との関係

が密接になったこと、政界や芸能界で秘密が多かったことなどが選ばれた要因だという。夢色通信社では、神町中学校における今年の漢字を勝手に選んでみた。

今年の漢字



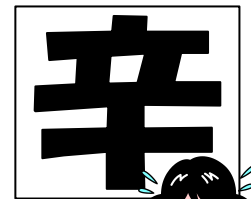
「心歩^{しんぽ}（生徒会スローガン）」「繫心^{けいしん}（運動会スローガン）」「心響曲^{シンフォニー}（文化発表会スローガン）」と、第27代生徒会は「心」を伸ばしていく活動に重きを置いてきたので、ムネッティ社長は「心」をあげた。「思いやりの心」「善悪の判断の心」を成長させていくという願いが、今年の神中を引っ張ってきた。



三者面談中、保護者が落としてしまったお金を男子バレー部の1年生が拾って届けてくれたり、市議会議員の方から「神中生にあいさつされて気持ちよかった」と電話があったり、生徒会の活動が神中生の「心」を成長させてきた1年であった。

スポーツ好きのムネランチ会長にとっては、辛（つら）い1年だった。地区中&県中総体の中止。県中駅伝大会や吹奏楽の大会も中止になり、アンサンブルコンテストもビデオ審査となった。3年生の無念さを思うと心が痛

む。「^{かんなんなんじ}艱難^{かんなんなんじ}汝を玉にす（人は困難や苦勞を乗り越えることで初めて立派な人間に成長する）」ということわざがある。このことわざ通り、日常の大切さやスポーツができることへの感謝の気持ちを持つことができた年でもあった。



ムネ爺は「新」じゃな。新型コロナウイルスが猛威をふるった1年じゃったが、新たなスタイルを創造し難局を乗り越えてきた1年でもあった。沖縄から佐渡へ変わった研修旅行。半日開催となった運動会。県民ホールで行われた文化発表会。一斉休校&オンライン学習。さらには、自転車の新たなルールも確

立された。どれも、歴史に残る新たな1ページとして記憶に残るであろう。

俺からは一言、物申したい。お前たち、今年の正月にどんな願いや誓いを立てた？「勉強がんばる？」「部活がんばる？」その誓いはどこにいった？本気でがんばったと言える1年だったか？来年も同じか？来年は丑（うし）年。「草木も眠る丑三つ時」と言うが、丑は時間でいうと午前2時頃を指す。つまり、「才能や運氣はまだ眠っているが、これから伸びる」ということだ。お前の才能は、来年も眠ったままか？それでいいのか？

